

## 「主体的に学習に取り組む態度」とは何か？

～令和2年度教育課程研究協議会の中止に伴う説明資料のスライドから考える～

新学習指導要領では、評価の観点が各教科、3つに統一されました。その評価の観点の中でも「主体的に学習に取り組む態度」について、以下のような疑問をお聞きすることがあります。そこで、このページでは、教育課程研究協議会説明資料の中にある2枚のスライドから、「主体的に学習に取り組む態度」とは何なのかを考えてみたいと思います。



「関心・意欲・態度」と、「主体的に学習に取り組む態度」はどう違うのかな？



「主体的に学習に取り組む態度」と、下の「長野県の児童生徒がめざす学びの姿」は、どう関係しているのかな？

### 5 各教科等における評価の基本構造



### 長野県の児童生徒がめざす学びの姿



- ・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要。
- ・「粘り強い取組を行おうとする側面」と、「自らの学習を調整しようとする側面」を評価。

※文部科学省 国立教育政策研究所 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 より

- ・これまでの「習得する」児童・生徒像（学校で、教師の説明を聞き、知識・技能を習得）から、コロナ禍の休校中にそうであったように、家庭や地域と連携しながら、自ら計画を立てて学ぶ「自律して学ぶ」児童・生徒をめざす。

※「令和2年度教育課程研究協議会の中止に伴う県教育委員会説明資料 新学習指導要領の全面実施と学習評価の改善について」より



「粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとする」側面が、より大切にされるようになったんだね。



「自ら」「自律して」とあるように、児童生徒が自分で学んでいけるようにすることが目指されているんだね。



「主体的に学習に取り組む態度」を児童・生徒の中に育てるために、授業の中で学習課題を設定する場を設け、児童・生徒が予想や見通しをもてるようにしたり、振り返りの時間を設けて、児童・生徒が自分の学びを振り返り・調整することができるようにしていくことが考えられるね。

# コロナ禍においても

# 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

深い学び  
への工夫

理科

工夫：学年や分野を越えて、既習内容を  
関連付ける場面を構想する

中学校2学年「動物のからだのつくりとはたらき」  
(前略) いろいろな感覚器官や神経系, 運動器官のつくりと働き  
を関連付けて理解させることがねらいである。  
(中学校学習指導要領 解説 理科編P90)

〈前時: 光の刺激が目に入ることでものが見えていること(目のはたらき)を知る〉

学習  
問題

目はどのようなつくりをしていて、  
ものはどのようにして見えているのだろうか

予想

目にも凸レンズやスクリーンのような  
ところがあり, そこを光が通ったり  
うつったりしているのかも

解剖  
(ブタの目)

凸レンズのような物体があった。  
後ろの方には, スクリーンのような  
白い膜のようなものがあった。

関連付け

1学年「光の世界」  
・凸レンズを使うと, スクリーン  
に像をうつすことができる。  
・ものづくりとして「簡易カメラ」  
の制作

箱をスライドさせて、  
景色がいちばん  
よく見える  
ところを探そう

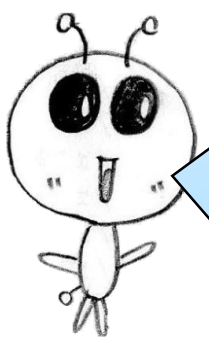


考察

ブタの目にも, 凸レンズやスクリーンの  
ようなもの(目のつくり)があったと  
いうことは, スクリーンに像がうつるの  
と同じような仕組みでものが見えて  
いるんじゃないかな。



生徒が1学年「光の世界」の学習を関連付けて予想していくことができるように、授業が構想されていたよ。また、実際の予想場面では、生徒の気づきをもとに、これらを関連付けて考えられるよう「光の世界」で扱った凸レンズやスクリーンを提示する手立てがあったよ。実際にブタの目を解剖することで、予想を確かめていく生徒たちに「深い学び」につながる姿が見られたよ。



# コロナ禍においても 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

## 主体的な学び への工夫

工夫：子どもたちの安心感につながる  
「授業のユニバーサルデザイン化」

## 特別支援教育

小5理科「花のつくりと実」（全9時間）

【本時のねらい（要約）】

ズッキーニの雄花と雌花のつくりを調べ、雄花と雌花の見分け方を説明することができる。

学習問題 「おばな」と「めばな」はどうやって見分ければよいだろうか

**グループ**に分かれて花の特徴を  
友だちと**相談**しながら調べよう



**実物**に触れながらスケッチしよう  
【言葉での表現が難しい場合は、  
スケッチだけでもよい】

自分のワークシートにスケッチする



べとべとしている  
ところがあるぞ

提示された**拡大写真**でスケッチ  
したものを確かめてみよう



ここがふくらんで  
いるんだな



花の真ん中に違いが  
あったよ。もう少し  
詳しくしよう

授業終了のチャイムが鳴っても、子どもたちはスケッチの仕上げや学習のまとめを書き続けて、席を立とうとはしなかったよ。**グループの友だちと相談**する場があり、**実物に触れる**ことにより雄花と雌花の違いが実感できていたよ。また、**拡大写真**で自分がスケッチしたものをいつでも確かめられる支援があったよ。こうしたことが子どもたちの**安心感**につながり、主体的な学びとなったんだね。



校内  
プログラミング教育  
研修会  
～H小学校の訪問より～

## 先生方自身が試行錯誤する体験を

先生方ご自身がプログラミングソフトを用いて体験していただくことで、プログラミングの授業のイメージがもてることを大切にしました。

### 〈研修内容〉

内容	使ったもの
<b>(1) まずは確認</b> (10分) 導入の背景や、育成する資質・能力は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「小学校プログラミングガイド やってみよう！！」 (学びの改革支援課)</li> </ul>
<b>(2) プログラミングで作図</b> (35分) 小5 正多角形をかこう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わくわく算数」 啓林館 p236 QRコード ※URLを入力</li> <li>Scratch</li> </ul>
<b>(3) 実践事例から学ぶ</b> (15分) 事例のポイントは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>未来の学びコンソーシアム 実践事例 ※その場で検索</li> <li>事例 (小5 正多角形) のポイントの確認</li> </ul>
<b>(4) ちょっと体験</b> (10分) 低学年からできるプログラミング？！	<ul style="list-style-type: none"> <li>Viscuit (Web版) ※その場で検索</li> </ul>



吹き出し内は、先生方の主な試行錯誤です。



・かいた線はどう消すの？  
・正三角形は何度回すの？  
・かけたけど、ねこが動かないよ。

・授業はどう作って  
いけばいいの？

・どうやって命令を  
出しているのかな？



### 〈研修後の感想より〉

- ・書籍等から何となく授業イメージがありましたが、今回の研修会で授業の具体の姿や有効な教材等を教えていただき、理解が深まりました。
- ・実際に教師が体験することで、児童がパソコンを使うときに感じそうなことや思いもわかったことは、とても貴重なことだったように思いました。

実際に体験してみると、H小学校のように授業のイメージがもてそうだね。ICT担当や研究主任の先生方を中心に、校内で1時間程度の研修会をやることもできるかもしれないね。



# 一人一台端末が届く日を見据えて 「タブレット貸与式」を計画・実施してみませんか

## 学校行事

### 新たな儀式的行事の工夫



#### 【タブレット貸与式 式次第】(例)

- 1 はじめの言葉
- 2 タブレット貸与に当たって
- 3 タブレット貸与
- 4 タブレットを使っの目標発表
- 5 終わりの言葉



密を避け、  
短時間で実施

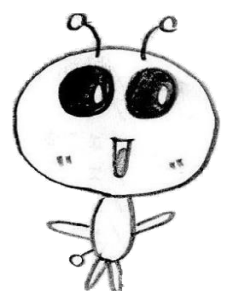
#### 【ねらい】

- ◎タブレットが自分の手元に届くまでに、多くの方々の努力があることを実感できるようにしたい。
- ◎貸与式後、手元に届いたタブレットをどのように使用していきたいかを考える場を位置づけ、自分の学習目標を明確にしたい。
- ◎「貸与」なので「返却」があることをイメージさせたい。

#### 【貸与式後の学習】

- ◎教室で実際にタブレットを手にして、基本操作について学ぶ。
- ◎自分の目標を決める（意思決定の場づくり）。
- ◎タブレットを使用する際に注意したいことを、子どもと一緒に考える。（きまりを自分たちでつくる 主体性の育成）
- ◎タブレットを使って、どんな学習ができそうか思いを膨らませる。

儀式的行事として位置づけが可能な【タブレット貸与式】です。全体の進行を教師が務め、目標発表では子どもの思いが具体的に表出するよう、事前の指導を丁寧に行いましょう。タブレットが1人1台の時代になったことは、学校教育で初めてのことです。手にしたタブレットを見つめる子どもたちの思いを、共有できる貸与式になるとすてきですね。



#### 【事前の準備確認】

- ・タブレット番号の記載 (だれのタブレットか分かるように)
- ・充電をする場所の確認 (学校で? 自宅で? 充電切れで学習に支障がないように)
- ・万一故障した場合の対応 (タブレットがなくて悲しい思いをすることがないように)
- ・家庭に持ち帰る場合、家庭学習での活用方法 (これまでになかった家庭学習が可能に)
- ・家庭におけるインターネット (Wi-Fi環境) の把握
- ・タブレットの持ち運び方法
- ・ICT研修会の計画 等 (タブレットの活用方法を紹介し合う研修会をいつ実施するか決める)